

ICT を活用した学習場面

B1 個に応じる学習, B4 表現・制作

音楽科

2年1組 田口 美樹

単元名 くりかえしをつかって音楽をつくろう (3/6)

本時のねらい：おまつりの音楽について，6つのリズムカードを操作しながら順番を考えたり，演奏を録音してリズムを何度も試したりする音楽活動を通して，リズムのまとまりや繰り返しに気を付けて音楽を作ることができるようにする。

評価規準：おまつりの音楽について，リズムのまとまりや繰り返しに気を付けて音楽を作っている。【思考・判断・表現】

指導の流れ

児童の活動 (ICT 活用の様子)・ICT 活用のねらいや留意点

1. いろいろなリズムを打って音楽を楽しむ。
2. ロイロノートを使って，リズムのカードを操作したり録音したりしながらリズム作りをする。



- ・手拍子や楽器でリズムを試し，ロイロノート上でカードを並べ直したり録音したりしてリズムを確かめることで，「繰り返し」を使っているか確認し，リズムを試しながら音楽を作ることができるようにする。
 - ・作ったリズムをスクリーンショットし，画面上に残しておくことで，後から確認できるようにする。
3. ペアで聴き合って交流する。
 4. 本時の振り返りを行う。

ICT 活用の効果 (困りが解決されたか)

成果：低学年の児童は，自分自身を客観視することが発達段階として難しい。そのため，自分の作った音楽が「くりかえし」を使って作ることができるのか，自分自身で確かめながら練習することが捉えにくい状況があった。

今回は，ロイロノートの録音機能やトレイン機能を使ってリズムを繋いだり，演奏を録音して確かめたりして，繰り返しを使った音楽を作ることができるのか，何度も試すことを通して，まとまりのある音楽を作るといふ本時のねらいをより高いレベルで達成することへとつながった。

課題：録音機能を使用する際，他の児童と距離が近いと互いの音が入ってしまう。そのため，個別に十分に距離を取ったり部屋を変えたりするなど，防音に配慮した場の設定が重要となる。